

平成 27 年度 第 6 回 市長と語ろう！タウンミーティング 議事録
(U 活プロジェクト in 銀座 首都圏の大学等に通う学生対象)

開催日時 平成 27 年 8 月 6 日 (木) 午後 4 時～午後 6 時 30 分

開催場所 茨城マルシェ (東京都銀座 1-2-1)

参加者 29 人

【提案された意見】

1 公共交通について

交通の便が悪いと思う。電車が人を呼び寄せるために一番だと思う。

2 陶芸について

笠間から離れていると陶芸が恋しくなる。都内は少ないのできびしい。

3 情報発信について

笠間はいいところだと実感している。東京はいろいろなものが詰まっている。旧笠間のことしか分からないが、笠間も小さいながら娯楽もそろって成り立っている。東京にない良さがある。きっかけの一つに笠間の良さを活かしていくことが大事。

個人的には祇園祭が好きである。東京三社祭より笠間の神輿の方が立派。でも、最近担ぐ人がいなくて衰退している。昔は人を呼べた。そのまま行くと無くなってしまうのではないか。外に情報発信できるようになればもっと違ってくる。

4 教育について

半年に 1 回ぐらいしか笠間には帰らない。田舎の空気はいい。最近田んぼも減少していて、農家も減ってもったいない。

東京は空気が汚くアレルギーが出る。笠間ではボランティアをやっていたが、東京にはそんなものは無い。

小学校も統廃合してしまい教員を目指していたが、それを聞くと教員になることに踏み切れない。

5 笠間シェアタウンについて

魅力はあるが、実際は行かないと思う。それはなぜかというと、サークルとかいろいろやっている中で、地元を考えるタイミングは帰省するとき。シェアタウンなどのスペースがなくても月 1 回でも情報があればいい。今回のようなものを定期的に「やります」という情報を流して良かったら集まってねというような形がいい。

6 SNSの活用について

学生の帰省するタイミングは一緒だから今回のようなイベントを笠間市でやるのもいいと思う。普段から地元のつながりが出来ない。だからSNSでつながることができれば、つながろうということになる。

7 伝えたい情報・ほしい情報について

市⇒学生：イベント情報の他、Uターン希望者には企業の採用情報、進出企業の情報。

学生⇒市：イベントはその内容による。例えば、石川県はサマースクールで学生に勉強を教える。学生にも益がある。イベントといってもお祭りではなく、アカデミック的なもの。地元の小中学生へ教えたりするイベント。

8 広報かさまについて

実家に帰らないと見られない。スマホなどで笠間の状況が見られたらいい。

9 子育て対策について

子育てに関する具体的な取組を教えてほしい。

10 笠間が衰退しない取組について

人口減の現実がある。笠間も例外ではない。人口が減って行くけど、笠間が衰退しない取組みを何か行っているか。

11 外国人観光客について

茨城空港のこと。活性化のこと。

12 医療について

医療系の大学に通っている。移住などを考えるとき、高齢者医療の充実が必要。それに産科などが呼び込む要因になる。笠間市に新しい家族を迎え入れるために子育ても大事。

13 教育について

地方創生で重要なものは雇用と教育である。東京に来て感じたことは、コミュニティーは笠間の方が強い。一方で、教育での格差は感じた。

14 Uターンについて

学生は、一度はみんな東京に出たいと思う。出た時に戻りたいと思わせる、教育、コミュニティーがあるかということが重要。

15 Iターンについて

雇用、教育、医療の充実が必要。Iターンが必要。

Iターンの方は郊外に住むと思う。東京の人が求めているのは農業の他に、教育などいろいろなものがあるところだと思う。

16 ネットの充実について

笠間市としてメールマガジンを配信するサービスで企業の採用情報。それだけで賄える。今からの世代はネットを使える、ネットの充実が重要。

17 教育等について

小中学校が統廃合された。逆に少人数で濃密な授業を。弱さを強みに変えることが出来る。

笠間市として圧倒的なものが一つでもあれば、人は集まると思う。移住にもつながる。

Uターンする人を求めるなら郷土を忘れない情報の提供。